

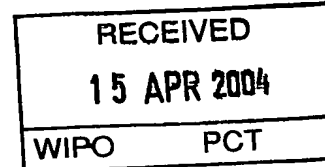
日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

02. 3. 2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 3月 5日  
Date of Application:



出願番号 特願2003-058608  
Application Number:  
[ST. 10/C]: [JP 2003-058608]

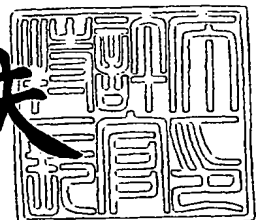
出願人 株式会社湯山製作所  
Applicant(s):

PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 4月 1日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 188095

【提出日】 平成15年 3月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A61J 1/03

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府豊中市名神口3丁目3番1号 株式会社湯山製作  
所内

【氏名】 湯山 正二

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府豊中市名神口3丁目3番1号 株式会社湯山製作  
所内

【氏名】 本領 晃敏

【特許出願人】

【識別番号】 592246705

【住所又は居所】 大阪府豊中市名神口3丁目3番1号

【氏名又は名称】 株式会社湯山製作所

【代理人】

【識別番号】 100062144

【弁理士】

【氏名又は名称】 青山 葆

【選任した代理人】

【識別番号】 100086405

【弁理士】

【氏名又は名称】 河宮 治

【選任した代理人】

【識別番号】 100073575

【弁理士】

【氏名又は名称】 古川 泰通

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100100170

【弁理士】

【氏名又は名称】 前田 厚司

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013262

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814273

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 錠剤ケース

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 左右側壁と、該左右側壁の後端に連続する後壁と、前記左右側壁の下端より上方の位置において前記左右側壁の間に設けられ、前記後壁から前側に向かって斜め上方に傾斜する傾斜面を有する底板とからなり、前記底板の傾斜面に錠剤ブリスターパックを載置して収納する錠剤ケースにおいて、前記底板より下方に位置する側壁と前記底板とで形成される空間に、前側に引き出し可能な引出しを設けたことを特徴とする錠剤ケース。

【請求項 2】 前記左右の側壁の下端に、前記引出しを下方から支持するガイドを設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の錠剤ケース。

【請求項 3】 前記引出しを前記錠剤ケースに収納したときに、前記引出しの内部を前記底板の前端より前側に位置する第 1 収納部と、前記底板の下方に位置する第 2 収納部とに仕切る仕切板を設けたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の錠剤ケース。

【請求項 4】 前記仕切板の上端に係合部を設け、前記底板の前側端部に前記係合部と係合する係合受部を設けたことを特徴とする請求項 3 に記載の錠剤ケース。

【請求項 5】 前記引出しの両側壁に突起を設け、前記底板より下方に位置する側壁に前記引出しの突起に係合する長孔を前記引出しの引き出し方向に沿って設けたことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の錠剤ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、錠剤ブリスターパックを載置して収納するための錠剤ケースに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、病院や薬局では、図 8 に示すように、複数段の棚 21 に多数の錠剤ケー

ス 22 を載置した錠剤台 23 が設置されている。錠剤を購入すると、包装箱から錠剤ブリスターパックを取り出して、錠剤ケース 22 に種類別に収納している。錠剤ケース 22 は、図 9 に示すように、左右側壁 24 a, 24 b と、該左右側壁 24 a, 24 b の後端に連続する後壁 25 と、前記左右側壁 24 a, 24 b の下端より上方の位置において左右側壁 24 a, 24 b の間に設けられた底板 26 とからなっている。底板 26 は、後壁 25 から前側に向かって斜め上方に傾斜する傾斜面 27 を有し、該傾斜面 27 に錠剤ブリスターパックを載置して収納するとともに、傾斜面 27 の前側に設けた 1 段低い小さな収納部 28 に端数の錠剤ブリスターパックを収納するようになっている（例えば、特許文献 1 参照。）。

#### 【0003】

しかし、従来の錠剤ケース 22 は、包装箱に錠剤ブリスターパックとともに収容されている説明書等を保管するスペースがなかった。そこで、端数の錠剤ブリスターパックの収納部 28 の下方に説明書を差し込むスペースを設けたものが提案されている（例えば、特許文献 2 参照。）が、このスペースは十分でなかった。また、従来の錠剤ケース 22 の下に引出しを設けたものも実用化されているが、引出しを設けた分だけ、高さ寸法が大きくなり、調剤台が大型化していた。

#### 【0004】

##### 【特許文献 1】

特開平 11-9663 号公報

##### 【特許文献 2】

特開 2001-104063 号公報

#### 【0005】

##### 【発明が解決しようとする課題】

本発明は、かかる従来の問題点に鑑みてなされたもので、従来の錠剤ケースの全体形状を変えることなく、錠剤の説明書等を保存するスペースを有する錠剤ケースを提供することを目的とする。

#### 【0006】

##### 【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明は、左右側壁と、該左右側壁の後端に連続

する後壁と、前記左右側壁の下端より上方の位置において前記左右側壁の間に設けられ、前記後壁から前側に向かって斜め上方に傾斜する傾斜面を有する底板とからなり、前記底板の傾斜面に錠剤プリスターパックを載置して収納する錠剤ケースにおいて、前記底板より下方に位置する側壁と前記底板とで形成される空間に、前側に引き出し可能な引出しを設ける。

#### 【0007】

本発明では、底板より下方に位置する側壁と底板とで形成される空間に前側に引き出し可能な引出しを設けているので、従来の錠剤ケースの全体形状と変わらない。また、この引出しに錠剤の説明書等を入れておく十分なスペースをとることができる。

#### 【0008】

前記左右の側壁の下端に、前記引出しを下方から支持するガイドを設ける。これにより、引出しを円滑に引き出すことができ、かつ、錠剤ケースを持ち上げたときの引出しの落下を防止することができる。

#### 【0009】

前記引出しを前記錠剤ケースに収納したときに、前記引出しの内部を前記底板の前端より前側に位置する第1収納部と、前記底板の下方に位置する第2収納部とに仕切る仕切板を設ける。この第1収納部は、底板より前側に位置して上方に開放されているので、端数のプリスターパックを容易に収容し、取り出すことができる。第2収納部には、錠剤の説明書等を保管することができる。

#### 【0010】

前記仕切板の上端に係合部を設け、前記底板の前側端部に前記係合部と係合する係合受部を設ける。これにより、錠剤ケースを持ち上げたり、錠剤台に載置するときに、引出しが無用に引き出されるのを防止することができる。

#### 【0011】

前記引出しの両側壁に突起を設け、前記底板より下方に位置する側壁に前記引出しの突起に係合する長孔を前記引出しの引き出し方向に沿って設ける。これにより、引出しが錠剤ケースから外れるのを防止することができる。

#### 【0012】

**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態を添付図面に従って説明する。

**【0013】**

図1は、本発明にかかる錠剤ケース1を示す。この錠剤ケース1は、透明または遮光性の合成樹脂からなり、従来と同様に、図8に示すような錠剤台23に載置され、各種の錠剤プリスターパック30を収納するものである。錠剤ケース1は、図2に示すように、ケース本体2と、引出し3とからなっている。

**【0014】**

ケース本体2は、図3、図4に示すように、左右側壁4a、4bと、該左右側壁4a、4bの後端に連続する後壁5と、左右側壁4a、4bの下端より上方の位置において左右側壁4a、4bの間に設けられた底板6とからなっている。左右側壁4a、4bの下端には、内方に突出し、かつ、前後方向に延びるガイド7が形成され、該ガイド7の上方には、前後方向に延びる長孔8が形成されている。底板6は、後壁5から前側に向かって斜め上方に傾斜する傾斜面9を有している。底板6の前端縁部は、左右側壁4a、4bの前端までは至らず、途中までになっている。また、底板6の前端縁部の中央にはスロット状の係合受孔10が形成されている。

**【0015】**

引出し3は、前記ケース本体2の底板6と該底板6より下方の左右側壁4a、4bとで形成される空間に引き出し可能に收容されるものである。この引出し3は、図5、図6に示すように、上端が前側に向かって上方に傾斜する左右の側壁11a、11bと、該左右の側壁11a、11bの後端に連続する後壁12と、左右側壁11a、11bと後壁12の間に広がる底板13とからなっている。底板13の前端部分は、左右側壁11a、11bの上端まで斜め上方に延びる傾斜面14となっている。傾斜面14の上端から下方には、錠剤名等を記載するラベルが貼り付けられる前板15が延設されている。この前板15と傾斜面14の間は、引出し3を引き出すときの取手となっている。左右側壁11a、11b、後壁12および底板13で形成される空間は、底板13に設けた仕切板16で仕切られて、仕切板16の前側でかつケース本体2の底板6の前端より前側に位置す

る第1収納部17と、仕切板16の後側でかつケース本体2の底板の下方に位置する第2収納部18とが形成されている。仕切板16の上端中央には、前記ケース本体2の底板6の係合受孔10に係合する係合突部19が形成されている。前述したように、底板6の前端縁部が左右側壁4a, 4bの途中で終わっており、この前端縁部の係合受孔10と仕切板16の係合突部19に係合することで、第1収納部17が開き、かつ、第2収納部18が閉じた状態になる。左右側壁11a, 11bの後端近傍には、突起20が外方に突出するように設けられ、該突起20は、前記ケース本体2の長孔8に係合するようになっている。

#### 【0016】

前記構成からなる錠剤ケース1は、図8に示すような錠剤台23に多数載置され、それぞれに異なる種類の錠剤プリスターパック30が収納される。すなわち、図1に示すように、ケース本体2の底板6の傾斜面9に新しい錠剤プリスターパック30が載置して収納され、引出し3の第1収納部17には、切り離された端数の錠剤プリスターパック30aが収納される。引出し3を引き出すと、図2に示すように、第2収納部18が現れる。この第2収納部18には、錠剤の説明書が保管され、必要に応じて、期限管理情報や禁忌情報を記載した紙片等が保管される。引出し3を閉じると、図7に示すように、引出し3の仕切板16の係合突部19がケース本体2の底板6の係合受孔10に係合するので、錠剤ケース1を錠剤台23から出し入れする際に、引出し3がケース本体2から脱落するのを防止することができる。また、引出し3を完全に引き出すと、引出し3の突起20がケース本体2の長孔8の前端に当接するので、引出し3が離脱することはない。

#### 【0017】

ケース本体2の底板6の下方の空間は、傾斜面9を有する底板6を設けるために必然的に形成される空間であり、図9に示す従来の錠剤ケース22にも存在している。本発明の引出し3は、このケース本体2の底板6の下方の空間に設けられているので、従来の錠剤ケース22の全体形状と変わらない。特に、錠剤ケース1の高さを同じにしたまま、引出し3を設けることができる。したがって、従来と同様の錠剤台23に、従来と同数の錠剤ケース1を設置することができる。



底板6に錠剤プリスターパック30を収納し、引出し3の第1収納部17に端数の錠剤プリスターパック30aを収納できるという機能に加え、引出し3の第2収納部18に錠剤の説明書等を保管できるという新たな機能を、全体形状を変えずに付加することができる。

【0018】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、本発明によれば、底板より下方に位置する側壁と底板とで形成される空間に、前側に引き出し可能な引出しを設けたので、従来の錠剤ケースの全体形状を変えることなく、引出しに錠剤の説明書等を入れておく十分なスペースをとることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明にかかる錠剤ケースの引出しを閉じた状態を示す斜視図。

【図2】 本発明にかかる錠剤ケースの引出しを引き出した状態を示す斜視図。

【図3】 ケース本体の平面図。

【図4】 図3のケース本体の断面図。

【図5】 引出しの平面図。

【図6】 図5の引出しの断面図。

【図7】 錠剤ケースの断面図。

【図8】 従来の錠剤ケースを載置する錠剤台の斜視図。

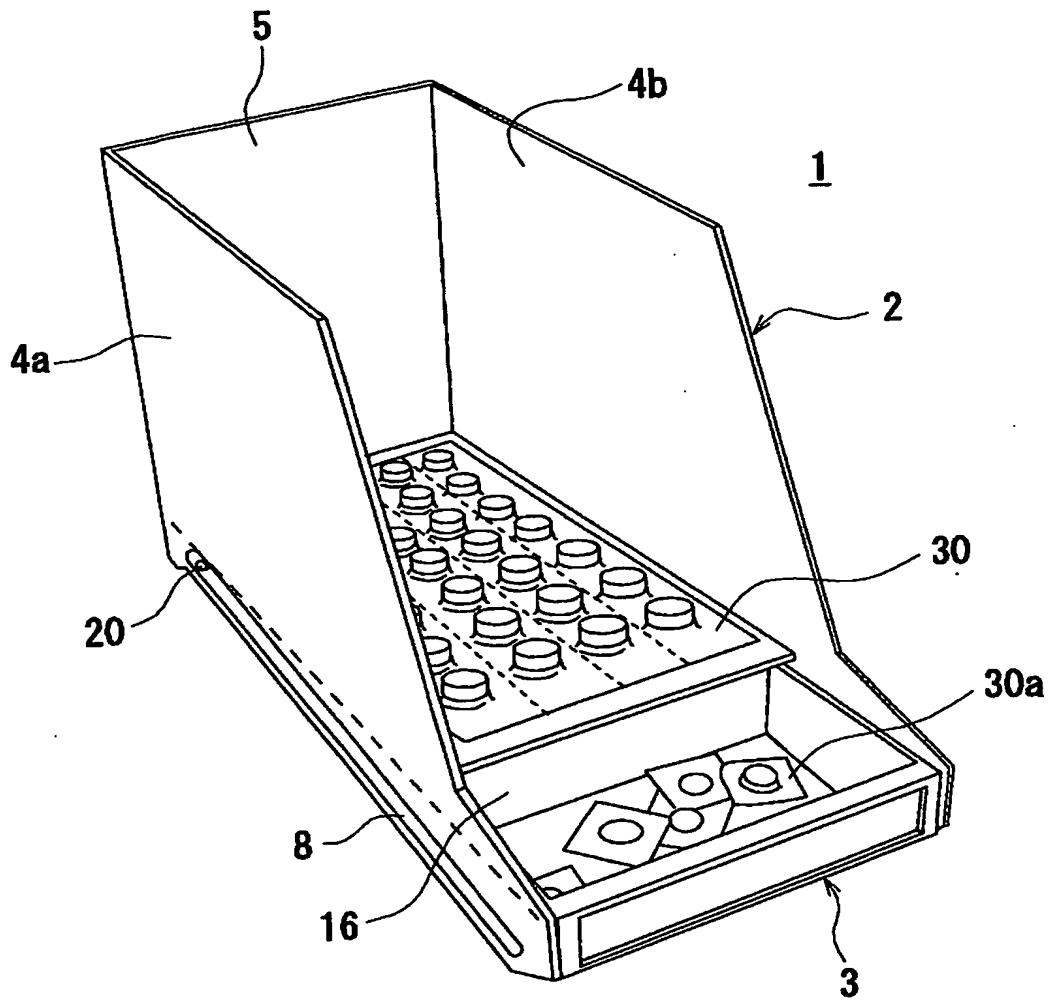
【図9】 従来の錠剤ケースの斜視図。

【符号の説明】

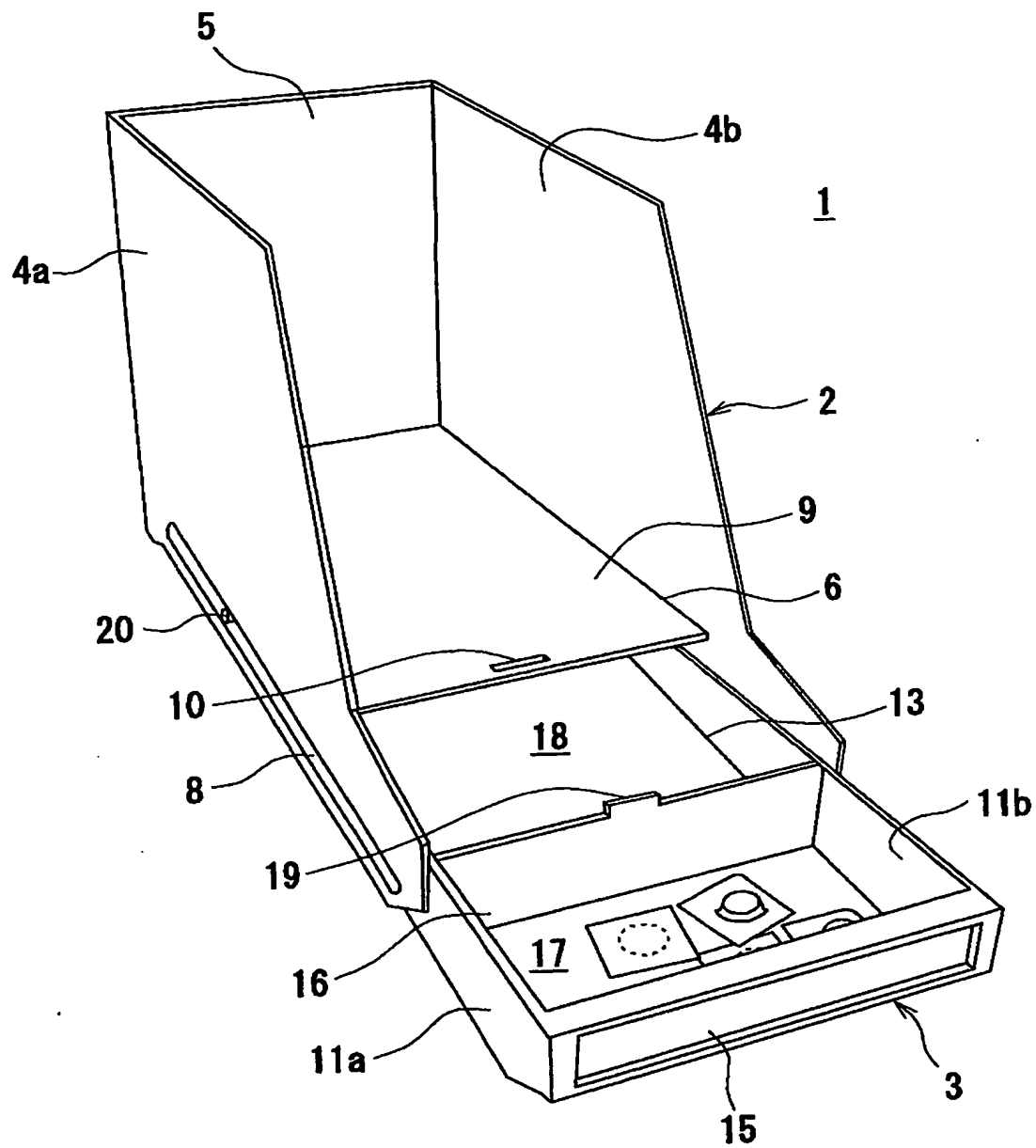
1…錠剤ケース、2…ケース本体、3…引出し、4a, 4b…左右側壁、5…後壁、6…底壁、7…ガイド、8…長孔、9…傾斜面、10…係合孔、16…仕切板、17…第1収納部、18…第2収納部、19…係合突部、20…突起、30…錠剤プリスターパック、30…端数の錠剤プリスターパック。

【書類名】 図面

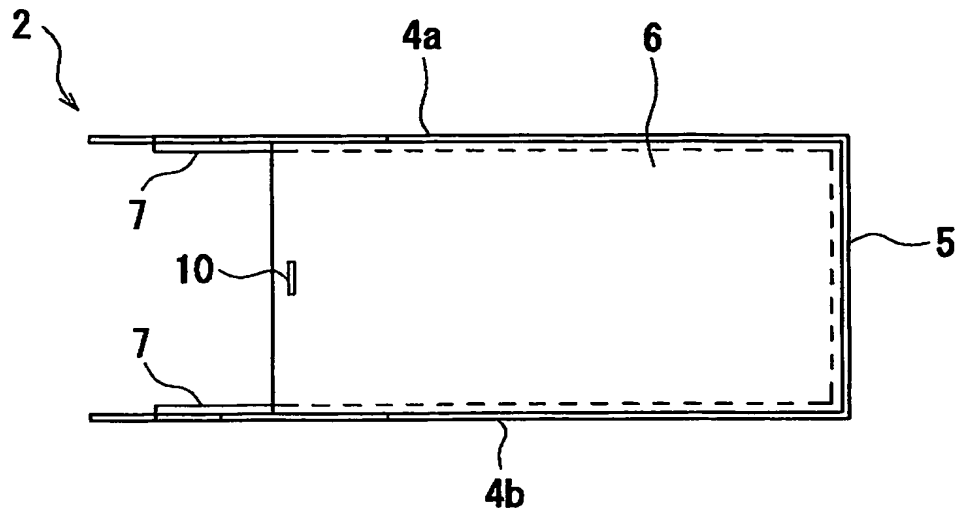
【図 1】



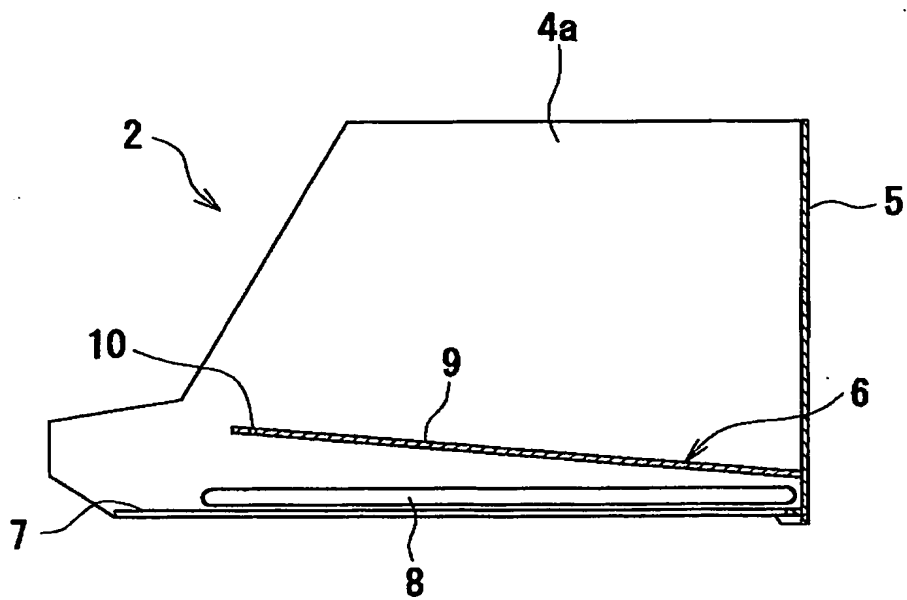
【図 2】



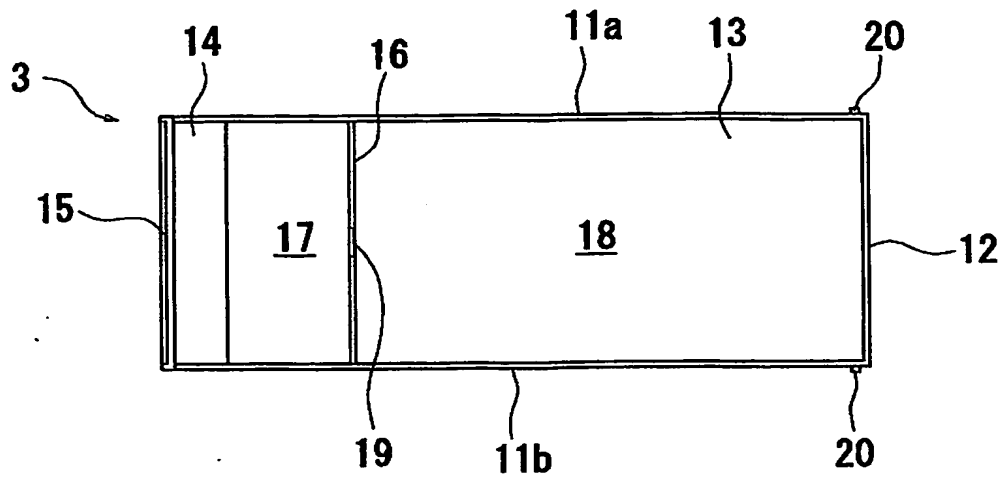
【図 3】



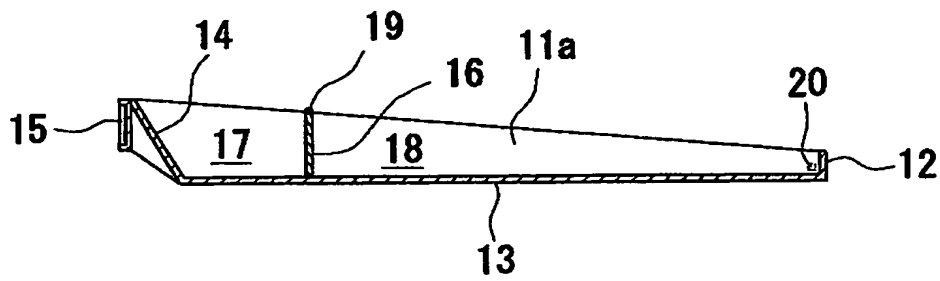
【図 4】



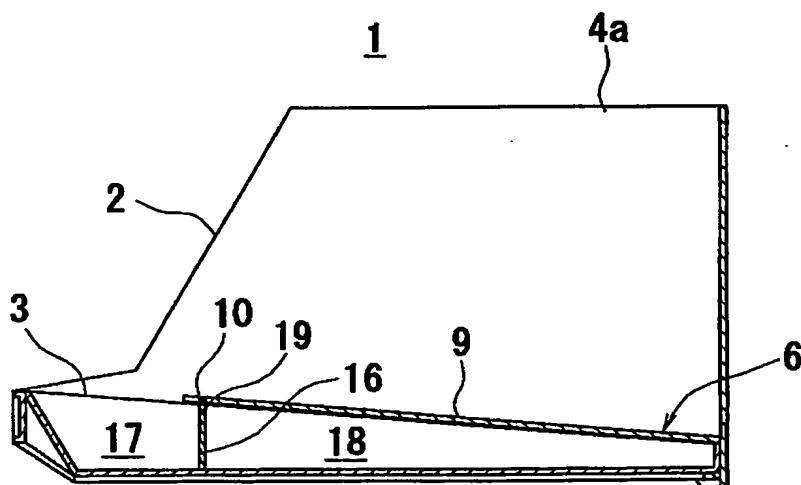
【図 5】



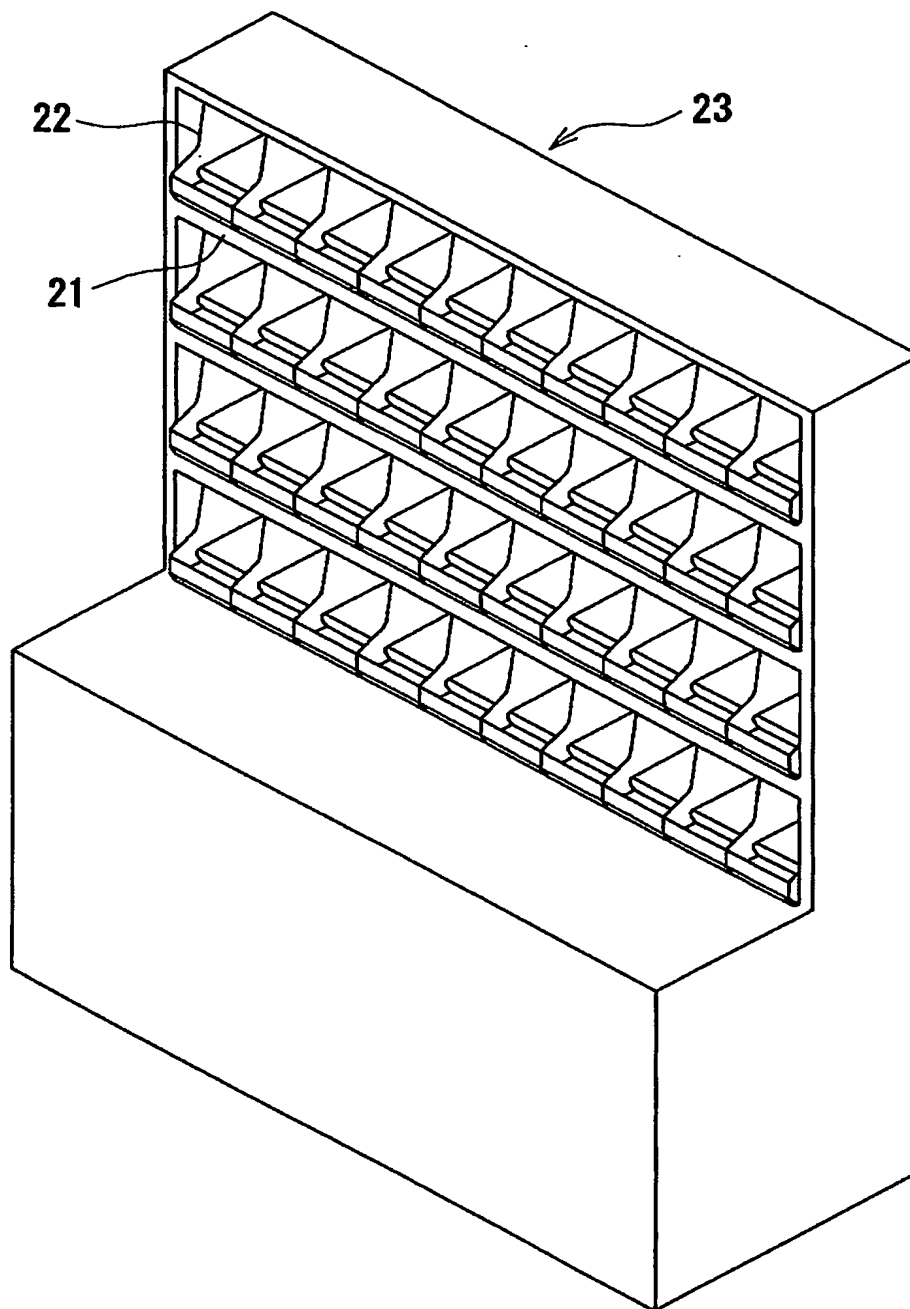
【図 6】



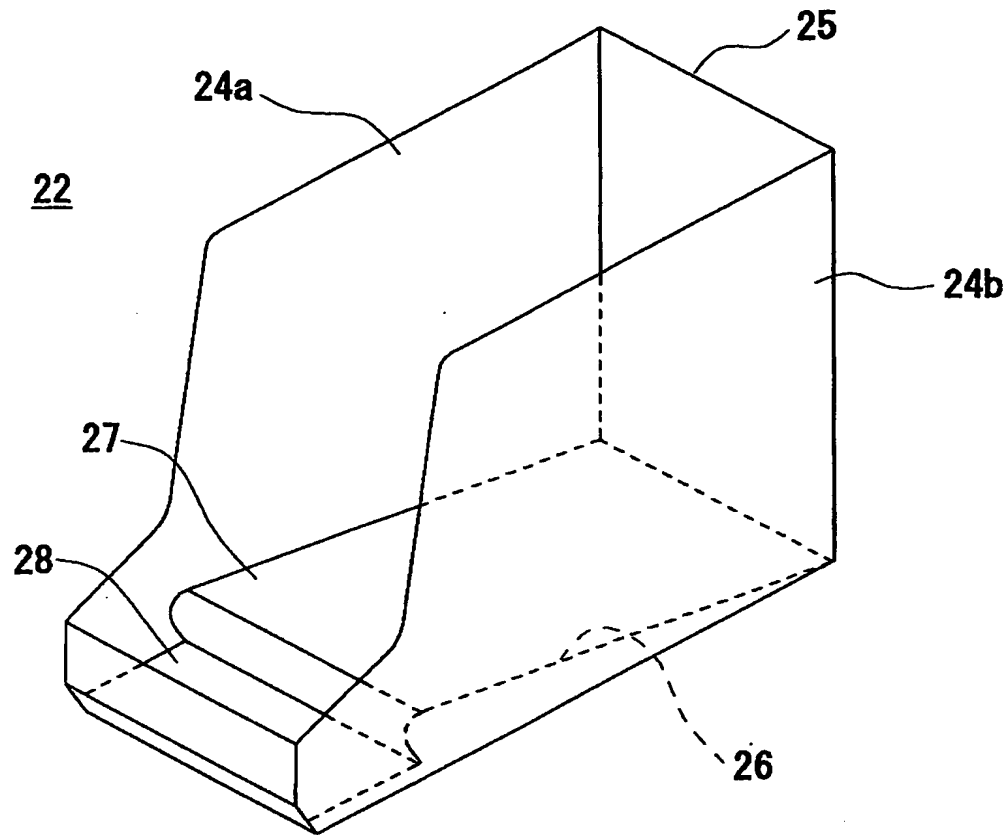
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 従来の錠剤ケースの全体形状を変えることなく、錠剤の説明書等を保存するスペースを有する錠剤ケースを提供する。

【解決手段】 左右側壁 4 a, 4 b と、該左右側壁 4 a, 4 b の後端に連続する後壁 5 と、左右側壁 4 a, 4 b の下端より上方の位置において左右側壁 4 a, 4 b の間に設けられ、後壁 5 から前側に向かって斜め上方に傾斜する傾斜面 9 を有する底板 6 とからなり、底板 6 の傾斜面 9 に錠剤プリスターパック 30 を載置して収納する錠剤ケース 1 において、底板 6 より下方に位置する側壁 4 a, 4 b と底板 6 とで形成される空間に、前側に引き出し可能な引出し 3 を設ける。

【選択図】 図 2



特願 2003-058608

出願人履歴情報

識別番号

[592246705]

1. 変更年月日  
[変更理由]

住所  
氏名

1992年11月30日  
新規登録  
大阪府豊中市名神口3丁目3番1号  
株式会社湯山製作所

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**